

下関市立豊田中央病院の公立病院 経営強化プランについて

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

① 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

記載のポイント

- 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能について記載する。
- 地域医療構想における推計年である令和7年（2025年）及びプラン最終年度における機能ごとの病床数や、病床機能の見直しを行う場合はその概要を記載する。

記載内容（P3）

- 下関市北部地域では、今後、人口が減少する一方で後期高齢者は令和12年まで増加することが見込まれ、医療・介護のニーズが増加することから、回復期医療がより一層重要となる。
- こうした中、地域の中核病院として、回復期の医療を中心に、急性期から慢性期までの医療を担っているほか、24時間救急医療体制を維持し、夜間休日の医療を提供するなど、不採算となる医療を担い、公立病院としての役割を果たしている。
- さらに、在宅療養支援病院として、介護・福祉の関係機関と連携し、地域包括ケアシステムにおける拠点病院としての役割を果たしている。
- 今後も引き続き、これらの役割を担うため、現在の一般病床60床を回復期病床で運用し、医師等の確保により病床利用率を上げ、その上で、休棟中の療養病床11床の再開を目指す。

病床機能	計 画				
	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
回復期（床）	60	60	71	71	71

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

記載のポイント

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能について記載する。
- その際、病院の規模や特性等に応じた役割・機能の明確化・最適化について記載する。

記載内容 (P3~P4)

- 地域住民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムにおける役割である医療・介護サービスの提供範囲を下関市北部地域全体に拡大する。また、多様な症例の患者に対応ができるよう医療従事者の育成を積極的に進める。
- 具体的には、適切な医療の提供（かかりつけ医、入院受入、救急医療等）、回復期患者の受入（急性期病院から転換受入、リハビリの提供）、在宅復帰支援の充実（訪問看護、訪問・通所リハビリテーション等の提供）のほか、一般病床の地域包括ケア病床への一部転換や訪問看護サービスの24時間対応、在宅患者の看取りや急変時の対応強化、レスパイト入院の受入れによる介護者の負担軽減を図る。

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

③機能分化・連携強化の取組

記載のポイント

- 地域全体で持続可能な地域医療提供体制を確保するために必要な**機能分化・連携強化の取組の概要と講じる具体的な措置**について記載する。
- さらに、病床利用率が特に低水準（令和元年度まで過去3年間連続して70%未満）である場合、地域の実情を踏まえつつ十分な検討を行い、必要な取組について記載する。

記載内容（P5）

- 回復期機能を提供するほか、地域包括ケアシステムを支える慢性期医療・介護ニーズに対応する病院として、圏域内の急性期病院及び近隣クリニックとの機能分化を明確にし、連携を強化する。これにより、患者の受入れをよりスムーズに行い、病床利用率の改善を図る。
- 近隣クリニックが抱える在宅患者に対して訪問看護で支援を行い、豊田中央病院をかかりつけ医とする通院が困難な在宅患者に対しては、地域の調剤薬局による訪問薬剤指導を行うなど、地域の医療機関等との連携強化を図る。

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

参考

記載のポイント

○ 病院の果たすべき役割に沿った、質の高い医療機能を十分に発揮するとともに、地域において他の病院等との連携を強化しているかを検証する観点から、以下の例示などを踏まえ、適切な数値目標を設定する。

1) 医療機能に係るもの

地域救急貢献率、手術件数、訪問診療・看護件数、リハビリ件数、地域分娩貢献率など

2) 医療の質に係るもの

患者満足度、在宅復帰率、クリカルパス使用率など

3) 連携の強化等に係るもの

医師派遣等件数、紹介率・逆紹介率など

4) その他

臨床研修医の受入件数、地域医療研修の受入件数、健康・医療相談件数など

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容 (P5~P7)

1) 医療機能に係るもの (介護保険事業含む)

地域包括ケアの推進のためには、適切な医療の提供と在宅復帰の支援が必要なことから、以下の数値目標を設定

	見込	計画				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
北部地域救急貢献 (%)	10.3	11.0	11.5	12.0	12.0	12.0
訪問診療件数 (件)	200	270	280	290	300	310
医療リハビリ件数 (件)	6,200	7,700	7,810	7,920	7,930	7,950
訪問看護件数 (件)	1,200	1,500	1,520	1,540	1,540	1,540
訪問リハビリ件数 (件)	960	1,100	1,110	1,130	1,130	1,130
介護通所リハビリ件 (件)	2,270	3,400	3,440	3,490	3,500	3,510

※北部地域救急貢献率 = 救急車来院患者数 / 北部地域の各消防署救急車搬送人数
北部地域 = 豊浦東消防署 + 豊浦東消防署菊川出張所 + 豊浦西消防署豊北出張所

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容 (P5~P7)

2) 医療の質に係るもの

患者に選ばれる病院となるため、医療や看護の質の向上を図る必要があることから、以下の数値目標を設定

	見込	計画				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
患者満足度 (%)	—	90.0	90.2	90.4	90.6	91.0
在宅復帰率 (%)	92.0	89.0	89.5	89.5	90.0	90.0

※令和4年度は患者満足度調査未実施
※在宅復帰率は地域包括ケア病床を対象

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

記載内容 (P5~P7)

3) 連携の強化等に係るもの

圏域内の急性期病院及び近隣クリニック等との連携を強化していくことから、以下の数値目標を設定

	見込	計画				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
紹介率 (%)	12.1	13.3	14.5	15.3	16.5	17.6
逆紹介率 (%)	24.2	26.1	27.9	28.2	29.4	30.6
病床利用率 (%)	43.2	70.6	71.8	72.9	73.3	73.3

※病床利用率は、許可病床数71床に対する病床利用率

4) その他

患者や家族の不安や問題を解決に向けた支援を行うため、以下の数値目標を設定

	見込	計画				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
医療相談件数 (人)	270	270	280	290	300	310